

ファミマ 40 周年「40 のいいこと!？」の 1 つ『わくわく働ける店』
ファミリーマートの障がい者雇用の取り組みについて
～店舗での有機野菜の販売や業務サポートセンターの設立～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、2021年9月に創立40周年を迎えました。様々なきっかけでお客さまがさらにファミリーマート店舗に足を運んでいただけるようになる（＝ファミマる。）ために、本年は40周年に向けたチャレンジ「40のいいこと!？」に取り組んでまいります。

このたびは、「**40のいいこと!？」の5つのキーワードの1つである「わくわく働ける店」**の一環として取り組んでいる、ファミリーマートの障がい者雇用の主な取り組みについて、お知らせいたします。

ファミリーマートでは、障がいをもった方が広く活躍できるよう、職域の拡大や支援策の充実を進めております。2021年6月1日現在のファミリーマートの障がい者雇用率は、法定雇用率2.3%を達成しております。今回は、千葉県流山市における有機野菜農場での取り組みと、本社にて障がい者活躍に専任で取り組む「業務サポートグループ」の取り組みについて、ご紹介いたします。

① えかオーガニック農場での取り組み～栽培した野菜を近隣店舗でも販売～

ファミリーマートでは、2006年から株式会社 ECA（本社：東京都千代田区、代表取締役：小野内裕治）が運営・管理する「えかオーガニック農場」（千葉県流山市）の農業指導を受け、有機野菜の栽培をしております。現在では、主に特別支援学校を卒業した社員43名（平均年齢28歳）が、約2.7ヘクタールの敷地で、年間約50種類の有機野菜を栽培しています。2021年2月には、一般社団法人日本GAP協会が定める、食品安全・労働安全・環境保全・人権福祉などの基準を満たした農場に与えられる認証「JGAP」も取得しております。



収穫された有機野菜は、ファミリーマート社内で社内販売されるほか、2020年2月からは農場近隣のファミリーマート店舗でも販売を開始し、現在では、流山市、松戸市の合計10店舗で販売しております。

今後は、店舗への安定的な野菜の供給を目指していくとともに、農場での体験を新入社員のダイバーシティ研修の場としても活用していく予定です。



※店舗での販売の様子

②業務サポートグループの取り組み～障がい特性にあわせた業務の創出～

ファミリーマートでは、2019年に障がい者活躍に専任で取り組む「業務サポートグループ」を新設し、本社にて障がい者の特性に合わせた職域開拓を行っております。各部署のルーチン業務やスポット的な業務を業務サポートグループで担うことにより、各部署の作業効率の向上に寄与しています。また外注業務の内製化によってコスト削減などの効果が期待できます。2021年9月1日現在、ジョブサポーター7名を含む39名が在籍しております。

●業務サポートグループで担当している業務例

- ・事務サポート業務（PC入力、スキャン業務、契約書製本、営業データ集計など）
- ・施設・備品管理（ステーションリーコーナーの文具管理、備品貸し出し、会議室管理など）
- ・クリーンサポート業務（共用部の清掃・除菌など）
- ・メール室業務（社内メール便の受け取り・仕分け、宅急便・郵便の受け取り、発送など）

2021年9月からは、名刺やFC契約書の印刷など、新規業務も開始しております。今後は、本社業務だけでなく、各地の拠点事務所でも取り組みを拡大していく予定です。



③その他の取り組み～店舗での就業訓練の受け入れ～

公益財団法人新宿区勤労者・仕事支援センターと連携し、2008年から、同施設内に出店するファミリーマート新宿スポーツセンター店にて、障がい者の方の就業訓練の場を提供しております。就業訓練の内容は、接客や、商品の補充、清掃、検品など、個々の状況に応じて設定されます。今後も、障がい者の方の実生活に役立ち、自立支援につながる取り組みとして貢献してまいります。

ファミリーマートは、今年創立40周年を迎えました。これからも「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

【ファミリーマート40周年プロジェクト】

URL：https://www.family.co.jp/campaign/spot/2021_40th.html

以上